

森潤三郎 著 「新刊 8月末発売予定」

決定版 紅葉山文庫と書物奉行

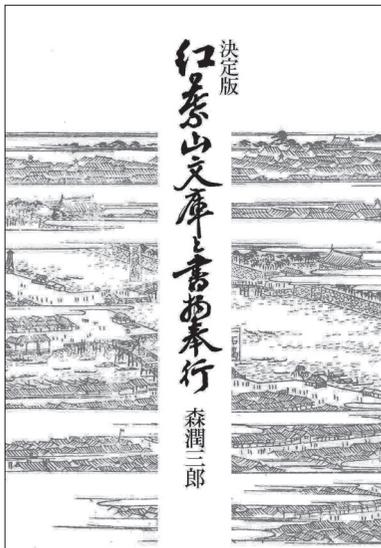
長年にわたり数多くの資料や墓碑を渉猟し、江戸時代唯一の官設図書館である紅葉山文庫の沿革と書物奉行の事蹟を日本で初めて本格的にまとめた本。著者の訂正・補充を反映させ、昭和八年初版刊行以来八十四年ぶりの改訂新版。A5判上製カバー装・二一六頁／定価（本体四、八〇〇円＋税）

【本書の内容】

- 序（杉栄三郎） ■緒言（森潤三郎）
- 第一章 文庫の沿革Ⅱー 本邦に於ける文庫、特に武家文庫の沿革略／二 江戸幕府に於ける文庫の起原／三 書物奉行の創置／四 書目の編纂
- 第二章 紅葉山文庫Ⅱー 文庫重要事項年表／二 明治以後の文庫と書籍／三 紅葉山文庫蔵書の当時及び後世に及ぼせる影響／附録 文庫の図に就て
- 第三章 書物奉行Ⅱー 奉行任命の形式その他／二 奉行任職序列表／三 奉行任職没年表
- 参考書目略解題 ■跋（森潤三郎） ■再刊あとがき（森 寛）

『紅葉山文庫と書物奉行』は昭和八年七月に第一版が刊行されたが、その時の発行部数は五百に過ぎなかった。著者森潤三郎は昭和十九年四月に没したが、生前、この本の改訂を望んでいたらしい。昭和三十八年、未亡人静が没したとき、遺品のなかに潤三郎の筆蹟で多くの訂正、補充が書き込まれた「訂正用」と表示された一冊を見出した。このたび鷗出版が、潤三郎の遺したこの訂正用を、『決定版紅葉山文庫と書物奉行』として刊行することを企画された。このことは私にとって大叔父である潤三郎の、おそらく最大の願いが実現する。（森 寛／本書「再刊あとがき」より）

■著者紹介Ⅱ森潤三郎（もり じゅんざぶろう）
一八七九（明治一二）年向島小梅村で生まれる。兄に森林太郎（鷗外）・篤次郎、姉に小金井喜美子がいる。一九〇五（明治三八）年早稲田大学を卒業後、東京帝国大学資料編纂掛に就職。その後、京都府立図書館、東京帝国大学伝染病研究所等に勤務。歴史考証学の研究や兄鷗外の評伝等で知られている。一九四四（昭和一九）年逝去。



キリトリ線

注文書	
流通センター	取扱品
地方小出版	
帖合・書店名	
注文数	冊
注文条件	
鷗出版	森潤三郎 著
決定版 紅葉山文庫と書物奉行	ISBN978-4-903251-13-4 C3021
定価(本体4,800円＋税)	
ご注文日	
年	月 日

仕入れご担当者様 ※ご注文は(株)地方・小出版流通センターへ—FAX: 03-3235-6182



鷗出版

〒270-0014 千葉県松戸市小金 447-1-102
電話 : 047-340-2745 / <http://www.kamome-shuppan.co.jp>